

Kita no Kawaraban

北の瓦版

URL <http://www.do-shokoren.com/>

北海道商工会連合会 〒060-8607 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル
(011)251-0101代 / FAX(011)271-4804
編集人：事務局長 北山 隼 / 定価：1部50円 / 隔月1回1日発行
会員の年間購読料は会費に含まれていただいております。

貯める・安心・借りられる——
掛金ひとつで3つの備え
商工貯蓄共済

この先、
アカルイ。



お申し込みは
商工会
北海道商工会連合会

平成十四年度臨時総会開催される

道商工連の平成十四年度臨時総会が三月六日、センチュリーロイヤルホテルで開かれ、全道百七十八商工会から百七十三人（委任状十人）の商工会長が出席し、提案の当年度予算の更正と新年度計画及び予算を原案通り決定した。また、引き続き開かれた道商工共済協同組合の臨時総代会でも、新年度計画等を原案通り決定した。

冒頭あいさつに立った桜会長は、「国の中小企業政策転換のなかで、商工会のあり方が問われており、平成十三年度設置の「合併・広域連携問題検討委員会」において約一年にわたり議論を重ね、新たな機能と役割をもった組織へと改革すべく、その基本的方向をまとめることができた。新年度事業計画は、「商工会の組織体制及び財政基盤の強化」「小規模事業者等支援事業の推進」「商工会人材育成事業の実施」「商工貯蓄共済事業の促進」を重点事業として、積極的な取り組みを図ってまいりたい」と力強く方針を示した。

新年度計画のなかでは、特に



商工会の広域連携・合併に係る具体的支援や中心市街地活性化等の事業展開に対する重点的な支援を行うため、道商工連の機構改革を行い、それらに即応できる体制を整備するなど、商工会の機能強化に向けた組織改革に一步踏み出すこととなった。

また、広域的に展開する事業として「広域地域商業活性化対策事業 若手後継者間の広域連携事業、人材育成事業として人事評価システムの導入 職員研修体系の充実 など、経済の広域化への対応と組織の活性化につながるものに焦点をあてて取り組むこととなった。道商工連一般会計の新年度予算の総額

は、九億五千五百万円（対前年度比十五・四％減）となっている。

続いて、北海道総合企画部地域振興室市町村課主幹の佐々木保氏が、「市町村合併の状況について」と題して講演した。

このなかで、市町村合併の背景として「国の厳しい財政状況により、地方交付税が今後三割から四割減少することによる行政サービスの低下」を指摘。「現在の高コスト体質では財政を維持できない、合併は有効な手段。歳入が厳しくなるなか、今のままの市町村でいいのかを団体・企業・住民の意向を取り込みながら議論することが必要。現在八割強の市町村が合併研究会等を設置、道も積極的な支援をする」と語った。

平成十七年三月までに合併した場合の優遇措置は 合併特例債の発行 地方交付税は通常合併すると下がるが、十年間は合併前と同額を交付、を挙げた。「合併には二十二月の準備期間が必要。該当市町村の行政コスト差を埋める必要も。早急に合併協議会をつくって真剣に協議する必要がある」と提言した。

**低価格と高品質で
好評受付中！**

IP中継電話

ひまわりコール

通信コストの削減と地域商工業の振興のために、いま、通信コストの削減は重要なテーマ。商工会では商工業者と地域住民の通信費を削減し、地域のビジネスをさらに振興させるために、IP中継電話 ひまわりコール の導入事業を推進することになりました。IP中継電話とはインターネットの通信方式（IP/インターネットプロトコル）を利用した新しい電話サービス。会員事業者にとっては通信費の削減はもとより、あらたな商機・商流の創出も期待できます。ぜひ、この趣旨をご理解の上、「ひまわりコール」へのご加入をご検討ください。

市外電話、国際電話が格安に！

携帯電話への通話もこれなら安心！

人事異動

道経済産業局人事(四月一日)

産業部中小企業課長(同地域振興グループ消費経済課長兼消費者相談室長) 崎崎義則 電力・ガス事業部開発計画課長(産業部中小企業課長) 大黒正雄 産業部中小企業課小規模企業係長(同製造産業課生活産業係長) 神田美好 同地域振興グループ産業立地課産業基盤整備係長(同中小企業課小規模企業係長) 西本昌弘

道商工連人事(四月一日) 事務局長(振興部長) 北山雀 指導部長兼広域連携・合併支援室 指導部長兼情報課長(只野正博) 振興部長(指導課長兼組織課長) 野村芳久 指導部参事兼指導情報課長兼組織課長(上川支所長) 塩見和雄 上川支所長(総務課長兼財務課長) 鈴木博一 渡島支所長(貯蓄共済課長) 市川正親 振興部参事(渡島支所長) 藤高茂義 業務課長(胆振支所長) 赤松勲 総務企画課長兼財務課長(網走支所長) 笠井和夫 事業支

援課長兼地域支援課長(桧山支所長) 西野裕一 網走支所長(宗谷支所長) 中村栄次 胆振支所長(振興部主幹) 松葉則明 桧山支所長(企画部主幹) 佐藤貴幸 宗谷支所長(指導部主幹) 多地賢博 指導部主幹(後志支所主幹) 成澤弘明 指導部主幹(企画部主幹) 西村幸則 振興部主幹(網走支所主幹) 野原宏 空知支所主幹(空知支所主査) 赤坂晴子 上川支所主幹(上川支所主査) 田端良子 振興部主幹(広域指導課係長) 藤田厚子 胆振支所主幹(胆振支所主査) 曾我部由美子 網走支所主幹(網走支所主査) 岩田美穂 振興部主幹(胆振支所主査) 岩谷晃好 業務部主幹(貯蓄共済

課係長兼管理課係長) 横島義人 網走支所主幹(網走支所主査) 藤谷敏彦

【退職】(三月三十一日) 事務局長佐々木克浩 指導部長 三浦寛 企画部長牧田昭典 指導部参事阿部昭 商工会人事(四月一日) 福島町商工会事務局長(新任) 出羽正機 知内同(新任) 若山皓司 栗沢町同(新任) 石井道夫 長沼町同(新任) 石田博 旭川南(新任) 大西晃 永山同(新任) 斎藤和彦 上富良野町同(新任) 境一義 風連町同(新任) 井上馨之 増毛町同(新任) 村木忠夫 小平町同(新任) 佐藤栄一 利尻富士町同(新任) 三浦寛 興部町同(新任) 田村征一 早来町同(新任) 牧田昭典 三石町同(同経営指導員) 田代茂雄 音更町同(新任) 五十嵐隆男 土幌町同(新任) 吉田孝章 上士幌町同(新任) 横関公晴 七飯町商工会経営指導員(鹿部同) 品田信也 鹿部同(七飯町同) 中山正廣 沼田町同(同補助員) 尾中義之 東神楽町同(永山商工会補助員) 吉田雅人 上川町同(道商工連研修生) 横山理 朝日同(足寄町商工会経営指導員) 斉藤守 女満別町

同(上川町同) 佐藤淳晃 置戸町同(丸瀬布町同) 佐藤年光 丸瀬布町同(道商工連専門経営指導員) 釜沢等 三石町同(同補助員) 竹内都司 新得町同(同補助員) 堀籠光雄 大樹町同(置戸町商工会経営指導員) 佐々木健一 足寄町同(女満別町同) 小山田茂明 浜中町同(道商工連研修生) 佐々木健雄 道商工連専門経営指導員(浜中町商工会経営指導員) 星圭司 幌加内町商工会補助員(江差商工会記帳指導職員) 山川弥 新得町同(山部商工会補助員) 榊俊明

【退職】(三月三十一日) 厚沢部商工会事務局長藤田卓哉 木古内同佐々木正照 鳥牧同葛西義二 長沼町同中村茂 栗沢町同稲童丸貢 旭川南同津木哲 永山同宮崎謙一 上富良野町同福井昭一 朝日同羽山博美 風連町同藤井武 音威子府村同三國谷賢一 小平町同黒田虔治 利尻富士町同秋元進 興部町同井上晴雄 早来町同阿部富男 三石町同須田忠彦 音更町同中村正光 土幌町同高橋俊夫 沼田町商工会経営指導員橋本寛 東神楽町同丹野勝平 朝日同大橋義徳 新得町同大塚俊秀 大樹町同尾藤宏樹

晴れの黄綬褒章



澤田前道商工連副会長

石狩管内厚田村商工会の澤田富男会長(67歳) = 前道商工連副会長 = が今年春の褒章で、晴れの黄綬褒章を受章する。澤田会長は建設業を営むかたわら昭和58年から現在まで20年間、同商工会長として(平成6年から3年間道商工連副会長)商工会組織の強化に努め、地域の活性化や産業振興に大きく貢献した功績が認められたもの。

また、昭和52年から26年にわたり、建設協会長に就任し、地方の建設業界活性化に貢献した。更に、昭和59年から18年の永きにわたり村観光協会長として、観光客の誘致、会員相互の融和や共同事業の確立に貢献した。

このほか、多くの要職にもあり、平成5年道産業貢献賞(知事表彰)、道水産林務部優秀業者知事表彰と多くの表彰を受けている。

商工会特定振興事業報告

平成十四年度に道内十九商工会が取り組んだ、まちづくり等の各報告書がまとまった。このうち二商工会の報告要旨を紹介する。

地域振興支援事業

苫前町商工会

苫前町商工会（松田弘会長）は、中心市街地の厳しい現状を再認識し、今後の活性化への方向付けを提言するため、本事業を実施した。

商業統計、住民意向調査、経営者意識調査により本町の現状と課題を「購買力の流出増加」、「経営者の高齢化と後継者難」、「まちの中心が分からない」、「こぎわいが無い」とした。その上で、市街地活性化の方向をコミュニケーションの再生、にぎわいの創出、地域の活性化が急務としている。

具体的事業としては、生活交流拠点強化のため道・街の駅機能をもつ核施設の導入、商業集積をして地域の中心性を強化し商業・コミュニティ機能の複合的な提供を挙げ、また、サークル団体との連携による地域通貨エコポイントの導入など様々な活性化策の意見を集約した。

地域産業人材育成事業

浦幌町商工会

浦幌町商工会竹田悦郎会長は、各種研修会等で町内経営者及び後継者、従業員の人材育成を図ろうと、地域産業人材育成事業を実施した。

まず、若手後継者を中心としたパソコン研修（初級・中級）

を始め、女性部コース、建設会社の従業員を対象にしたCADコース等多岐にわたり研修六コース（延べ十七回）を開催し、二百三十人が参加した。

このほか「情報機器指導教育機関」を設置し、町内の商工業者等十七人の講師が登録され、やる気のある企業の経営革新を支援するため、十二事業所に対する個別指導を実施した。同商工会では「事業実施により少しでも経営向上につながれば」と期待を寄せている。

マイナス幅広がる

中小企業景況調査結果

道商工連は、道内商工会地域の平成14年度第4・四半期1-3月期実績による「中小企業景況調査」の結果をまとめた。

調査は20商工会の300企業（製造・建設・小売・サービスの4業種）を対象に行い、272企業からの有効回答を集計した。

それによると、前年同期と対比した景気動向指数D・I（増加・好転企業割合から減少・悪化企業割合を引いた指数）は、全業種の全項目（売上・採算・資金繰り・業況）にわたり、減少・悪化企業が増加・好転企業を上回った。

業種別の業況をみると、小売業の54.1%をトップに製造業36.7%、建設業34.2%、サービス業33.3%の順で悪化している。また、前回調査（10-12月期）と比べてみると建設業で10.6%マイナス幅が縮まったが、その他の製造業7.5%、サービス業5.7%、小売業5.0%とマイナス幅が拡大している。

一方、来期（4-6月期）の見通しについては全業種の全項目でマイナスの減少・悪化を予測している。

業況の見通しでも全業種で減少・悪化企業が増加・好転企業を上回っている。

これを前回調査と比べると、製造業17.3%、建設業10.6%、サービス業6.9%マイナス幅が縮まったが、小売業は1.8%マイナス幅が拡大している。全ての業種で来期のマイナスの減少・悪化を予測している。

消費者が信頼する「つるマーク」

優良道産品推奨品の認定を受けましょう!!

審査申請の受付・年2回/第1次：6月1日から末日まで/第2次：11月1日から末日まで



飲・食料品 — 食肉・乳製品、水産加工品、農産加工品、菓子類、清涼飲料、清酒、蒸留酒、麺類ほか

耐久消費財 — 床板、合板、家具類（木製・金属）、建具類、黒板、化学工業製品、石けん、ゴム製品、窯業・土石製品、その他金属製品（融雪機類）、工芸品ほか

優良道産品推奨品とは

道内で製造又は加工された商品で、企業から申請の商品を公的試験研究機関等が、JIS・JAS基準を参考とした審査基準により厳正な審査を行った後、推奨委員会で最終審議を経て推奨品と認められた商品です。

優良道産品推奨品には

優良道産品推奨品であることを示す、「つるマーク」シールを貼って販売でき、消費者の皆様が安心して買い求められる目安となります。（推奨期間は2年間です。）

問い合わせ先 ... 優良道産品推奨協議会
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター9階

TEL : (011)271-2155 FAX : (011)271-2155
URL <http://www.tsurumark.gr.jp>
E-mail tsurumark@coral.ocn.ne.jp



島所
支渡

エイド'03が
完成



通信

鉄骨造二階建て、総面積約千二百十六平方
米、昨年八月着
工、本年三月完
成、四月には建
物二階に商工会
事務所が移転し

上磯町商工会（宮崎高志会
長）が、商工会館とコミュニ
ティ施設の複合施設としてJR
上磯駅前建設していた、「上
磯町商業活性化支援センター
（愛称「エイド'03」）が完成、四
月十八日関係者を招いて落成記
念式典が行われた。



展示会など開催できる
イベント・キャノピー（約450㎡）

た。総事業費は、約三億九千二
百万円、国・道の「商工会等基
盤施設整備事業費補助金」「商
工会館等建設費補助金」「高度
化資金」、町の「上磯駅前活性
化センター建設事業費補助金」
が導入されている。

町の歴史的建造物である「ト
ラピスト修道院」をイメージし
た支援センターの一階には、特
産品等の展示コーナーのある交
流広場・子供広場、電動格納椅
子を備えた多目的ホール、パソ
コン研修もできる情報研修室な
どが完備されているほか、金融
機関も併設されている。

今後は、商工業者の活動拠
点、地域住民の文化活動の拠点
として、これら施設の活用が大
きく期待されている。



山所
支松

江差町
歴まち事業

「江差の五月は江戸にもない」
と謳われる江差町は、江戸時代
より檜（ヒノキアスナロ）材と
ニシン漁で栄え、北前船の活躍
で隆盛をもたらした「海の道」
のまち。

町が平成元年に道の歴史を生
かす街並み整備モデル地区に指
定を受け歴史にこだわったまち
づくり、まち並み整備事業（歴
まち事業）が行われている。

今月三日には、歴まち地区の
中核施設「吉番蔵（いちばんぐ
ら）」がオープンする。古い回船
問屋の土蔵の資材を活用して建
て替えられ、情報・コミュニ
ティ施設としてこれまでミニコ
ンサート等の活用の他、無料休
憩所やチャレンジショップ等も
予定されている。



オープンする吉番蔵（いちばんぐら）

建物の柱等には往時の道具で
傷つけられた痕が見られる等趣
のあるもので、今月三・四日に
は、この吉番蔵のあるいにしえ
街道で第十一回江差北前船まつ
り「春のいにしえ夢開道」が開
かれ、職人芸館や民謡ショー等



志所
後支

ニセコ
花フェスタ



のイベントが予定されている。
また、ニシン文化を見直し、
まちづくりに繋げるイベント
「にしんルネッサンス」が今月十
七〜二十五日に開かれ、町商工
会その他約三十団体等で各種催し
が企画され、増毛町出身のフラ
ンス料理第一人者である三國清
三シェフの講演会も予定されて
いる。今、江差の春は熱い。

「ニセコ綺羅街道」が完成し
二年目を迎えた。昨年に引き続
き「花」をキーワードとした、
「ニセコ花フェスタ2003綺

羅街道」を実施し、街づくりを
進める。この事業は、地域スタ
ンダートとして、自立ができ
る参加できる 個性の創造を
通し共同協調できる、「地域が
一体となり参加し、井戸端会議
ならぬ花畑会議でコミュニケーション
ションができる「街づくり」
だ。コンセプトは、「空には星
を」「地には花を」「人には太陽
（ニコニコ）」を」と今の流行で言え
ば、癒される街づくりだ。

「花の空間」創りの「ニセコ
花フェスタ2003綺羅街道」
事業を商業者ではなく住民の手
で、ネットワークを作り上げ、
現在、七月一日からの実施に向
け準備中。開催期間は九月二十

支所

五日までの八十
七日間。
この「花フェ
スタ」を契機と
して、住民、農
業者、観光関連
そして商業者が連携し、地域が
一体となり「ニセコ産業」と言
う一つの産業クラスターを目指
すもの。

この夏は、コミュニケーショ
ンが楽しめる街！ニセコ町へ！
この夏は、コミュニケーショ
ンが楽しめる街！ニセコ町へ！
この夏は、コミュニケーショ
ンが楽しめる街！ニセコ町へ！

この夏は、コミュニケーショ
ンが楽しめる街！ニセコ町へ！
この夏は、コミュニケーショ
ンが楽しめる街！ニセコ町へ！
この夏は、コミュニケーショ
ンが楽しめる街！ニセコ町へ！

この夏は、コミュニケーショ
ンが楽しめる街！ニセコ町へ！
この夏は、コミュニケーショ
ンが楽しめる街！ニセコ町へ！
この夏は、コミュニケーショ
ンが楽しめる街！ニセコ町へ！



知所 三千本のバラ 咲き誇る

秩父別町のローズガーデン
ちっぷべつが、観光スポットと
して人気を集めている。

ローズガーデンは、バラを中
心とした花と緑の野外レクリ
エーション基地を目指して、平
成十一年七月十一日にオープン
した。

同ガーデンは、敷地面積が約
五・四ヘクタール、バラの敷地面積が二
千平方メートル以上あり、売店を備え
た展望テラス「バラの城ふるー
ら」を中心として、周囲に三百
品種、約三千本のバラが咲き誇



ローズガーデンちっぷべつ

り、辺り一面に気品溢れる香り
を漂わせる。さらに、町花であ
るツツジ、ハマナス、ルピナス、
りんご、グミなどの果実、エゾ
ザクラといった樹木などが植え
られている。

バラは、六月から十月まで観
賞することができ、バラの城へ
上がる階段には「スタンダード
ローズ」と言われる背丈の高い、
スタンドライトのようなバラが
多く植えられ、英国王妃のバラ
などが次々に咲き、オープン以
来、毎年十六万人を超える来園
者で賑わいを見せている。

今年、七月に「深川留萌自
動車道」唯一の秩父別パーキン
グエリアが供用開始となり、こ
こから入園することもできるよ
うになる。

また、七月十三日には「ちっ
ぷフェスティバルinローズガー
デン」が開催され、バラの中
の多彩なイベントが繰り広げら
れるので、ぜひ、一度「ローズ
ガーデンちっぷべつ」を訪れて
いただきたい。



川所 市街地活性化 実験事業を計画

風連町商工会（橋場利夫会
長）は新年度、中心市街地活性
化の一環として小規模事業経営
支援事業（地域振興活性化事
業）に取り組み、TMOの立ち
上げに結びつきたいとしている。

具体的には、六月から十二月
まで毎月一回空き店舗を活用し
たイベントの開催と飲食料品の
販売を実施し、地域内異業種に
よる新規事業の創出と、中心市
街地のにぎわい創出がねらい。

この事業はTMOの立ち上げ
に向けての呼び水的な実験事業
で、毎週金・土の午前十一時か
ら午後七時まで営業し、提供す
る商品は当面、コロッケ、ソフ

トクリーム、おにぎり、みそ、
飲料の販売からスタートし、新
商品開発・研究にも取り組む。
月一回の日曜日には、店舗周
辺で新メニュー試食会、レシピ
募集等の住民参加型イベントな
ども企画する。

また、来店客へのサービス還
元として、メンバーズカード等
を配布し、販売促進と地元商店
街への波及効果も考慮する。

六月は郷土芸能交流会、七月
・七夕祭り試食会、八月・納涼
試食会、九月・秋の新メニュー
発表会、十月・収穫祭、十一月
・地域文化交流会、十二月には
クリスマス発表会などを開催す
る。

中、生き残りをかけた新事業へ
の参入で「何とか軌道に乗せた
い」と意欲を見せている。新事
業参入を思い立ったのは、身内
が高血圧のため購入した緑葉野
菜を粉末にした栄養補助食品が
きつかけだった。「自分でも栽培
できるかもしれない」と三年前、
所有地で、大麦の試験栽培をは
じめ、試行錯誤を重ね昨年秋に
製造へこぎつけた。大麦若葉
は、ミネラル、ビタミン、酵素
を多く含み、国内でもさまざまな
商品が販売されている。当
社の製品は、広大な土地がある
ので連作障害の心配もなく、品
質の良い製品を作ることができ
る。事業が本格化すれば、従業
員の通年雇用も可能になる。



留所 生き残りをかけ 新事業への参入 栄養補助食品を 製造販売

「大麦若葉」

苫前町商工会員の(有)山本土木
建築資材店、山本秀雄社長が、
かつて手がけた農業の知識と広
大な所有地を生かして栄養補助
食品「大麦若葉」の製造・販売
を始めた。公共事業が減少する

製品の、六十包（一包三・二
つ）入り一箱六千五百円。現在
は注文販売のみで、今後は販路
の開拓を目指している。
問い合わせは、☎01646
・4・2979へ。

●再就職活動支援事業の活用促進

「北海道求職活動支援センター」開設

厳しい経済情勢の下、自営廃業者等の増大が雇用者数の減少を上回るペースとなっており、自営廃業者等への再就職活動支援は大きな課題となっている。

このため、当会では自営業者等について、経営面のみならず倒産・廃業後の再就職に至るまで、

一貫したきめ細かな支援体制を整備するため北海道労働局の委託を受け「北海道求職活動支援センター」を四月に開設した。

具体的実施内容は次のとおり。実施体制

本求職活動支援センターは、

事業内容
a 廃業、離職者、新規採用等に係る情報収集
b 当会に相談員を配置し、相談窓口における職業相談
c 相談員や専門家等を各商工会に派遣しての移動職業相談
d 再就職セミナーの開催
e 地域内の関係団体等の協力をもとめるための「連絡協議会」等を開催
問い合わせは、道商工連振興部 ☎011・251・0102

北海道が策定している「地域求職活動援助事業計画」に沿って、当会が実施している「倒産防止特別相談事業」に新た

に倒産・廃業による離職者の再就職支援を加え、「求職支援センター」に相談員などを配備し、専門的な相談に対しては、適宜中小企業診断士、社会保険労務士などの専門家を派遣するなど、幅広く小規模事業者の求職支援を実施する。

「経営改善普及事業実施体制マスタープラン」を策定

北海道は、経営改善普及事業実施体制マスタープラン策定協議会（会長近藤光雄商工局長）を設置し、商工会

進するための具体的な計画策定のため設置されたもので、協議会委員には道経済部商工局長・産業振興課長、道商工連と道商工会議所連合会から事務局長と

わたり熱心な議論が交わされ本協議会に意見を提案した。

このマスタープランは、平成十五年度から五力年間で、計画的に取り組んでいくことを基本として策定、商工会や商工会議所が自主的・自発的な取り組み方法や方向性を検討していく上での指針として位置付けられ、

【道商工連関係会議】
3月 6日 第七回正副会長会議、平成十四年度臨時総会、全道商工会長研修会
4月 3日 管内商工会連合会
4月 16日 第一回役員推薦委員会、第一回女性部連合会理事
5月 18日 第一回青年部連合会理事
5月 22日 第一回正副会長会議、第一回常任委員会、第一回理事
5月 27日 平成十五年度女性部連合会通常総会・指導者中央研修会
6月 9日 平成十五年度青年部連合会通常総会・指導者中央研修会
6月 23日 第二回役員推薦委員会、第二回正副会長会議、平成十五年度商工会連合会通常総会
【諸会議出席状況】
3月 4日 全国連総務企画・組織委員会合同委員会、桜会長
5日 全国連税制金融委員会、全国連役員会・理事会、桜会長
12日 東北六県道連会長・専務理事
18日 全国連臨時総会、桜会長、道信用保証協会理事、五十嵐専務理事
24日 中小企業総合支援センター第二回理事会、五十嵐専務理事
27日 新千歳空港環境整備財団理事会、五十嵐専務理事
4月 10日 アイランドインシリ新築落成披露、桜会長
22日 北海道エナジー・トク21理事会、五十嵐専務理事
23日 中小企業会館第一回理事会、五十嵐専務理事
24日 火災共済協同組合通常総代会、五十嵐専務理事

広域的な連携協力体制の確立に向けて

創業支援や情報化など、多様化・高度化する事業者のニーズに的確に応え支援していくことが、強く求められている中で、地域の商工業の実情に応

進するための具体的な計画策定のため設置されたもので、協議会委員には道経済部商工局長・産業振興課長、道商工連と道商工会議所連合会から事務局長と事務局次長がそれぞれ委員となり、昨年の十一月二十日の第一回協議会を皮切りに三回開催され策定した。

また、個別の課題に係る協議を行うため、ワーキンググループ

この中で、広域連携・合併の

この中で、広域連携・合併の

研修のお知らせ

中小企業大学校旭川校

「女性リーダー養成コース」

▽定員20人▽期間5月20日(火)5月22日(木)3日間▽受講料2万5千円▽締切り 定員になり次第

「人と組織を生かすコミュニケーション」

▽定員30人▽期間5月26日(月)5月30日(金)5日間▽受講料3万6千円▽締切り 定員になり次第

「基礎から学ぶ生産現場の改善」

▽定員20人▽期間6月10日(火)6月13日(金)4日間▽受講料3万円▽締切り 定員になり次第

「営業管理者養成コース」(第9期)

▽定員20人▽期間6月17日(火)11月28日(金)3日間×6カ月▽受講料15万3千円▽締切り 定員になり次第

「新規創業支援研修」

▽定員30人▽期間6月27日(金)7月20日(日)5日間▽受講料

1万円▽締切り 定員になり次第
「よくわかる決算書の見方」

▽定員30人▽期間7月8日(火)7月10日(木)3日間▽受講料2万5千円▽締切り 定員になり次第

「管理者のための問題解決力の強化」

▽定員25人▽期間7月1日(火)7月4日(金)4日間▽受講料3万円▽締切り 定員になり次第

◆申込先
〒078-8555
旭川市西神楽4線5号6番地

中小企業大学校旭川校研修課

※同校には全個室五十室、談話室、体育館あり、寮費一泊一千五百円、食事一千九百円(三食分)で寮や校内食堂を利用できる。

関係行事予定

5月:

石狩 ◇14日 管内商工連通常総会(定山溪)

渡島 ◇6日 管内青連通常総会(函館市) ◇19日 管内商工連通常総会(函館市)

旭川 ◇1日 管内女性連通常

総会・リーダー研修会(江差町) ◇6日 管内青連通常総会(乙部町) ◇20日 管内商工連通常総会(江差町) ◇31日 管内職員協通常総会(瀬棚町)

後志 ◇21日 管内商工連通常総会(京極町) ◇30日 管内職員協通常総会(寿都町) ◇31日 職員研修会(寿都町)

空知 ◇6日 管内女性連通常総会(札幌市) ◇8日 管内青連通常総会(三笠市) ◇20日 管内商工連監事会・理事会・通常総会(岩見沢市) ◇31日 ブロック青年部員研修会(北村)

上川 ◇20日 管内商工連通常総会(旭川市)

留萌 ◇2日 管内青連代議員会(初山別村) ◇20日 管内商工連通常総会(留萌市)

宗谷 ◇2日 管内女性連通常総会・管内青連通常総会(稚内市) ◇6日 会長会議(稚内市) ◇17日 管内職員協通常総会(浜頓別町) ◇20日 管内商工連通常総会(稚内市)

網走 ◇1日 管内青連通常総会(端野町) ◇19日 管内商工連通常総会(斜里町) ◇31日 青年部ブロック研修会(東藻琴村)

胆振 ◇1日 管内青連通常総会(虻田町) ◇6日 管内女性連通常総会(札幌) ◇22日 管内商工連通常総会(札幌) ◇30日 管内職員協通常総会(白老町)

日高 ◇1日 管内女性連通常代議員会(三石町)・管内青連通常代議員会(静内町) ◇22日 管内商工連通常総会(札幌市) ◇31日 管内職員協通常代議員会(三石町)

十勝 ◇2日 管内青連通常総

会・女性連通常総会(帯広市) ◇9日 管内商工連正副会長会議・監査・会長会議(帯広市) ◇21日 管内商工連通常総会(帯広市) ◇7日 管内青連通常総会・正副部長等リーダー研修会(釧路市) ◇21日 管内商工連通常総会(釧路市)

根室 ◇1日 管内青連総会(中標津町) ◇20日 管内商工連総会(中標津町)

後志 ◇11日 後志ブロック女性部員研修会・管内女性連結成30周年記念式典(ニセコ町)

空知 ◇5日 事務局長研修会(岩見沢市) ◇11日 経営指導員研修会(札幌市)

十勝 ◇4-5日 管内職員協運営委員会春季研修会(音更町) ◇6日 管内職員協通常総会(帯

北海道ローカル地域中小企業支援センター
 〒060-8607 札幌市中央区北1条西7丁目(プレスト1.7ビル4F)
 TEL 011-251-0103 FAX 011-221-6686
 E-mail sinko@do-shokoren.or.jp

5月放送予告

企業未来! チャレンジ21

テレビ北海道 毎週日曜 朝6:45~7:00

- 4日 自社製品へのこだわり! 特殊プリンタ開発でオンリーワンを目指す
 ■ビジネスHOT情報...大きく育てます。人と未来! 中小企業大学校のご案内
- 11日 主婦のアイデアをビジネスに! きめ細かい情報収集で交通コンテンツ
 ■ビジネスHOT情報...明日をひらく! 高度化事業制度
- 18日 倒産から再建へ! 文具用品メーカー再生の軌跡
 ■ビジネスHOT情報...上手に使う! 中小企業税制
- 25日 公的施設入居がきっかけ! 産学官ベンチャーの戦略
 ■ビジネスHOT情報...経営のヒントが満載! 2003年版中小企業白書
- 6月1日 独自の循環システム! 建機レンタル会社が山岳用トイレを開発
 ■ビジネスHOT情報...資金調達を支援! 新事業開拓促進出資事業

*BSジャパン 毎週月曜夕方6:00~6:30でも放送

編集後記

北の山々に、桜の花便りが聞かれる季節となりました。「北の瓦版」第一号ができました。ご協力頂きました皆様、心よりお礼申し上げます。全道各地からの情報を今後ともお待ちしております。

今年は、多くの商工会で役員改選期を迎えます。是非ご連絡下さい、七月号で紹介いたします。

管内青連通常総会(帯広市) ◇7日 管内職員協研修会(帯広市) ◇22日 管内青連野球・ソフトボール大会(上士幌町) 根室 ◇7日 青年団体交流会(中標津町)